常磐文藝

新らしき希望

星影生

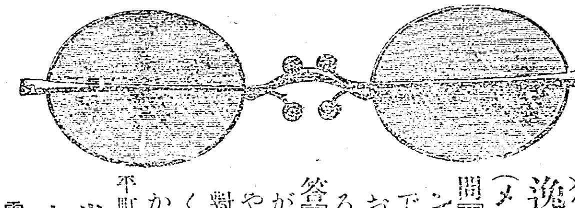
冬の陽光は弱く霜枯の大地に凡ての惠を與へるるやうとして萬象を照してゐる。枯葉を落しつくした林の木は來るべき日のために、伸びんとする芽を固く包んで勇氣を養つてゐる、あゝ惠み多き太陽よ此の大地に幸福を與へ給へ。

彼は去年の春、此の磐城の一學校に入つた一年生である。すなはなおとなしい女性の如き愛らしい瞳を持つた少年である。行く先きの希望を見つめた少年である『惠み多き太陽よ萬象に幸を與へ給へ』

彼は幼心にも此の美しい日の光を見て自分の心にこう感んずる程、尊い清らかな心の持主であつた。そして此の霜枯の野に惠を與へる太陽、その光の線、一線が自分の行くべき道である樣に考へて居た。

彼は此の景色に見とれながら靜かに柱にもたれて居たなんと云ふ美しいであらう『眞實』其のまゝを書き出してゐる。彼の心の中はすがすがとして清冷な水にひたり新しき希望に燃ゑながら靜に沈み行く太陽を眺めてゐた。（完）

評判第一　久保田パン



獨逸　高級眼鏡　（メニスカス）

問『メニスレンズを何んで皆さんがお好みになるのです』

答『掛け心地が良くて眼や腦へは絶對弊害がなく晴々するからです』

平町一丁目　常盤屋時計店　電話三三九番

弊店眼鏡部は各國品多數取揃へ電力應用で速時調製します

『別仕立春夏トンビ！』

洋傘　夏帽子　新荷着

平町四丁目　（に）鶴屋　電話一四〇番

美味と經濟の　西洋御料理

丸昇軒食堂　電話長四三九番（丸昌材木店隣）

御入浴も御散歩の折に是非お立寄を願ひます

……女給ボーイ募集……

開店御披露

買イ好イ店

良イ品ヲ安ク賣ル

關內藥舖

藥劑師　關內米助

電話四〇番

牛肉と葡萄酒

米國スエット會社一號　コンビーフ牛肉　正味九十匁入一罐　金四十錢

甲斐產商店勝沼工場製　大黑葡萄酒　正味一升入　金一圓七十錢

洋酒罐詰食料品商　西村屋藥舖　平町二丁目　電話長三番

神社佛閣附屬彫刻

銅像木像　金看板及　圖案

子弟入用に付き御希望の方御來談相成たし

玉峰堂　平古鍛冶町九十一

▼外交員募集▲

業務簡易月收百圓以上あり

各自居宅に在りて本店との連絡取れます

御希望の方は履歷書持參の上御來談あれ外に優遇の方法あり

福島無盡株式會社平代理店　現物賣買株式店　大谷保太郎商店

平町南町二〇（公會堂角）　日本勸業債券通信社　電話長二三四番

株式賣買中値

左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇圓〇	五七圓〇
平銀行	五〇〇	七三〇
磐越銀行	一二五	一〇五
磐城實銀	三〇〇	二九五
田村實銀	一二五	一二五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二四五
同新	一五〇	一八八
百七銀行	五〇〇	五五〇
同新	一二五	一六〇
七七銀行	一二五	九八
郡山電氣	五〇〇	三八五
同新	二五〇	一八〇
只見川電	一二五	七三
植田水電	一二五	一五五
好間水電	一二五	一四〇
磐城建物	一二五	五五
磐城製菓	二〇〇	六〇
平信託	五〇〇	三五〇
磐城勸業	一二五	一三五
植田物產	三〇〇	二八〇
平製氷	二五〇	二三〇
好間軌道	五〇〇	三五〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一一〇
磐城炭礦	五〇〇	四三〇
同新	二二五	一九〇
磐城セメント	五〇〇	六八〇
同新	二五〇	三七〇
平運送	一二五	八〇

賣買誠實懇切機敏に御取扱申候間多少に不拘御用命願候

東新株　先限　實物

前場後場共入電致居候

丸登株式店　平町田町　電話三三二番　川添房二郎

常磐每日新聞

定價　一部金貳錢　一ヶ月極ニ限リ一ヶ月卅錢
廣告料　五號十二字詰一行五十錢
休刊日　日曜大祭日祝日ノ翌日
福島縣石城郡平町田町卅六番地　印刷所　一〇活版所
發行兼編輯人　印刷人　川崎文治
福島縣石城郡平町字長橋町卅五番地　發行所　常磐每日新聞社

五月二十六日夕刊

寄書

處滑排日の原因（一）

不攀山人

總て問題は突發的な事件でない限りそれに相當の深い原因があるものであつて之を知るには即ち『現在を知らんとせば古を見よ』で歷史的に解決して來るに越した事はないのであります

最初米國人は太西洋岸に於て製造工業を營んで大變繁昌して居つたのでありますが然し乍ら其原料の產地及出來上つた工業品を販賣する豫防を必要とする、結果米國人は太西洋にのみ執着する事が出來ず段々と其內部地方即ち米大陸の中央部へと進入して來たのでありますが其處に於て南方フロリダを西班牙から買收しメキシコと戰つてテキサス外二州の占領となつて東漸主義を取つた事は前說に明した筈であります（モンロー主義の個所に於て）然し乍ら大戰前迄は米國は歐洲各國に比べて比較的劣つた工業國であつたが大戰中に一躍して歐洲各國と肩を並べ得る工業國となつたのでありますが今日米國の輸出品の重なるものを見ると原料に非ずして製造工業品であり輸入の重なるものは製造加工品でなくて原料であります是に於てか其の製造加工品を賣出すべき市場として且又其の原料を取るべき供給地として米國が太西洋岸に行詰つた結果是に一躍して極東たる日本支那方面に進んで來たのは米國經濟產業的發展の必然の勢力でありますが帝國外交史を繙いて見るに日露戰爭が濟んでポーツマス條約の騷ぎの中に逸早く日本に飛込んで來て滿洲に於ける野心を暴露したのが彼の米國鐵道王ハリマン及之の率ゆる技手長スチーブンスでありますハリマンの假協約は日露戰爭の結果日本が亞細亞の經營を爲す事を許さずとして米國が飛込み來つて彼の滿洲の主人公となろうとしたに外ならぬのであります

好妙な操縦振りに 観衆の膽を奪ふ

飛機二臺連行して平町訪問 幾回となく頭上をかすめて 熱狂した歡呼轟く

既報平町青年團主催海事國防思想普及としての一つの試みである霞ヶ浦航空隊からの飛行機は本日午前九時五拾分頃南方遙かに機影を現はした是れより先き平町各學校生徒其他の群集は新川端附近の田市に人垣を作り天の一方を仰いで待つ程なく杉本大尉外一名の操縦に係る拾年式のR二二一號及びS二一八號が爆音勇ましく二臺連行して機影を雲間から現した時には歡呼の聲が天地もさけよとばかり轟き亙つた二機は斯かる歡聲裡に思ひきつた低空飛行を試み一度は着陸するのではないかと思はしむる程であつたが幾回となく群衆の頭上をかすめ飛んだ後鮮かな宙返り逆轉、錐モミ、木の葉返し等の好妙な高級飛行に見る者の膽を奪つて約拾分間の後に名殘りを告げて遠く南方に飛翔し機影を沒した

内鄉の炭礦對地主爭議に 縣當局からの調停案

被害地は會社側にて修理 地主側に多少優利

磐城炭礦の增進作業進行と共に所在地内鄉村の全村に亙り水田は龜裂を生じ家は傾き井水は枯渇して飲料水を欠き地主對會社側に紛爭を續け來つたが既記の如く縣知事に是れが陳情書を提出し解決方を懇請せるの結果大塚技師廣瀨技師現場に出張し實地調査の結果左の如き調停案を作製

調停案

一、被害地は會社側に於て相當修理を施し作付に支障なからしむること

二、會社は左の事項に對し賠償をなすこと

（イ）修理作業並に用水其他の事柄に起因する平年作以下の減收高但し平年作は一反歩二石四斗と見做す

（ロ）本被害の爲めに生ずる灌漑作業の增加に對する相當賃金

三、右減收高の決定は會社及地主並に縣、郡、村當局立會の下に決定すること

四、本用水路灌漑區域内に於て用水の補給すること

五、地主の耕作狀況に關しては縣郡村當局並に會社側に於て相當監視する事

兩者に協議せしめることとなつた、是れについて地主側では近日中に該案に就いて審議し改めて會社に要求し會社側では東京本社から重役の來山を待つて協議を爲し交渉を開始する事となつたが大體は双方共該案を容れて手打をする運びに至るであらうといふ

役場新築修正 平町

長室に役場新築委員參集新築平面圖を附議した結果二三の修正意見あつた爲め直ちに修正に基き改めて作圖する事となつた

硫酸アンモニヤで 稻苗代の雜草除去を

郡當局が奬勵中 新川町松崎氏の試驗奏効

宣傳中

稻苗代の雜草である『水はこべ』『うきくさ』『あをみどろ』等の雜草の繁茂する時は地温を低め肥料を奪取し稻苗の發育を除害する事は一般の知る處であるが、是れが除去方法として『硫酸アンモニヤ』を用ふれば相當効果ある事は既記の如くであつて平町新川町松崎其成績が極めて佳良であつた爲め郡當局は一般當業者に是非勵めたいと であるが其方法は先づ苗代を朝から排水し晝頃に至り硫酸アンモニヤ七百匁を水一斗に溶解した液を一面に撒布し排水の儘一晝夜を放置し翌日灌水すれば雜草は數時間にして枯死する由

カテイランの 古食パンの おいしい食方

石城郡の 夏秋蠶奬勵 降霜の善後策

石城郡では春蠶が降霜の爲大打撃をうけたので夏秋蠶に全力をそゝぐべく奬勵品種に一代交雜種國蠶日一〇七號同支四號三元交雜種國蠶日一〇七號同支一〇一號支四號などそれ〳〵手配中である

平町入營壯丁

平町長橋町佐藤與全は仙臺輜重兵第二大隊と同胡摩澤高木源三郎は東京府下目黒同上第一大隊へ南町酒井久太郎は横須賀海兵團舞鶴練習部に來る三十日何れも入所すること

眞夜中に 泥醉漢溺死

足踏み辷らし

石城郡永戸村大字渡戸字高野農須藤留吉（五六）は廿五日夜半拾一時頃泥醉して村内の架橋より河中に墜落押流されて溺死し平署林部長檢視した

◆不平受付◆

◆投書歡迎◆

寄留者の檢査 平町にては壯丁者に對し原籍者と寄留者の檢査日を異ならして居ますがどうして特に別々に執行しなければならないのでせう餘り原籍者と寄留者に區別を立て過ぎるではありませんか（寄留生）

▼遠藤兵事係の答 壯丁が百卅名を越える場合には檢査を二日にまたがつて執行せねばならぬのです、其處で平町の壯丁は原籍寄留を合し百六七十名になりますが爲め事務の所理上是れを二つに分けたのです

鎌田の苗代枯死は 灌漑水が惡質の爲め

試驗の結果判明した

本日農事試驗場から回答

平町鎌田方面の稻苗代七反歩が灌漑水の關係か殆んど全滅の狀を呈して枯死せる爲め郡當局に是れが水質試驗を願出たるは既記の如くであるが本日本縣農事試驗場から試驗結果として左記の如き回答が到着した

一、多量の浮游機物及水溶有機物を含有し腐敗臭を有す

二、鹽化物、硫酸鹽及硫化水素を少量に含有す

三、弱酸性反應なり

四、灌漑用水として不適當なり

五、苗代周圍の排水溝等は充分滲漉し排水を良好ならしむること、少量の煙炭（藁等を燻燒し水を以て消失せしめ）末を撒布すること等は被害の度を輕減す

常磐地方の 送出炭增加

他地方は不振

常磐地方の各炭礦から去月中に送出した石炭は廿四萬五千六百七拾二噸であつて前月より五千四百卅七噸の增加を示して居るが全國の炭礦地方にて前月より送出高增加を示せるは常磐地方と北海道のみであつて其他各地は何れも減少であると

平軍人分會が 海軍記念式

終つて祝宴を

平町在鄉軍人分會では來る廿七日は第十九回海軍記念日に相當するので松ヶ岡公園に於て式典を執行する筈であるが當日は在鄉軍人平町海交團員官公衙職員各學校職員生徒兒童等其他一般有志の參列あるべく終つて祝宴を催す由で尙ほ當日は本海大海戰に參加した人々等の當時の實戰談を乞ふ計劃であると

磐城皇道會の 夏季大學 開催

富岡町にて

既報の如く皇道會磐城支部主催夏季大學は來る八月八日より拾四日まで双葉郡富岡町公會堂に於いて開催の筈であるが學科目並に講師は左の如く決定した尙會費は金三圓で一般の聽講を歡迎するこ

▲國體論二時間文學博士黒板勝美▲倫理と敎育三時間文學博士吉田熊治▲惟神の本意三時間文學博士宮地直一▲認識論三時間文學博士記平正美▲倫理と經濟二時間商學博士藤本幸次郎▲世界の大勢五時間ドクトル長瀨鳳輔▲現代哲學五時間ドクトル中根環堂▲國防論二時間陸軍大將立花小一郎▲大和民族精華二時間陸軍中將堀内文次郎▲和歌の大意二時間御歌所寄人千葉鼎明

磐日の休刊

同業磐城日日新聞社にてはマラソン主催準備の爲め本日から三日間休刊する由

平町人事

▼出生

△仲間町 春山登一氏長女文子

△南町 酒井保氏三男恭

▼婚姻

△双葉郡浪江町 渡邊直衛氏（二四）南町六谷蝶（二二）